

望まぬ妊娠と対児感情との関係

—妊娠モチベーション測定の試み—

(分担研究：被虐待児予防の保健指導に関する研究)

花沢成一¹⁾、横田正夫¹⁾、大屋 敦²⁾、林マツノ³⁾

要約：小児虐待のハイリスク因子の一つとしての「望まぬ妊娠」が、虐待とどのように関わるものかを明らかにすることを目指して本研究はおこなわれた。本年度はとくに、望まぬ妊娠の度合いを知るための妊娠モチベーション質問紙の適用性を検討することにした。これを妊婦 261名に実施し、同時に児に対する感情の測定も試み、両者の関係を調べたところ、妊娠モチベーションの低い、すなわち望まぬ妊娠の度合いが強い妊婦ほど、児に対する愛着的感情の低い傾向が認められた。

見出し語：望まぬ妊娠、対児感情、妊娠モチベーション

【研究目的】

虐待のハイリスク因子としては、被虐待児の要因、家庭の要因、社会的要因など、さまざまなものが考えられるが、「望まぬ妊娠あるいは出産」も重要な因子の一つと思われる。両親の大きな期待のもとに生まれてきた場合と、妊娠しなければよかった、あるいは産みたくなかったという親の後悔の念のものに生まれてきた場合と、両者の間には、親子関係に大きな格差があるのは当然であろう。

本研究は「望まぬ妊娠」が、実際に虐待とどのように関わるものかを明らかにすることを目指しておこなっているものだが、本年度はとくに望まぬ妊娠の測度となる妊娠モチベーションの測定を

妊婦を対象として実施し、同一妊婦に対児感情の測定も試みて両者の関係を明らかにすることにより、小児虐待の母親の早期発見と予防のための妊娠モチベーション質問紙と対児感情評定尺度の妊婦への適用の可否についての基礎的知見の検討を目的としておこなったものである。

妊娠モチベーション(motivation 動機づけ)は、現在の妊娠をどのように体験しようとしているか出産に対してどのような期待を抱いているかということに関わるものであり、このモチベーションが高い妊婦ほど現在の妊娠を肯定し、妊娠の経過に伴うさまざまな問題を積極的に克服するよう努力するものである。出産後の育児についても肯定

¹⁾ 日本大学文理学部

²⁾ 東京都立荒川産院

³⁾ 日本赤十字愛知女子短期大学

的な関わりをするであろうと予想される。

反対に妊娠モチベーションが低い妊婦は、現在の妊娠を否定する傾向が強いので、妊娠中の体験を自分自身や児の発達のための礎石にしようとする意欲に欠けることになると思われる。この状態こそ望まぬ妊娠を表すものと考えられるので、妊婦が今の妊娠を望んでいるか、望んでいないかをこのモチベーションの視点でとらえることは有意義ではないかと思われるので、これをとりあげることにした。

また対児感情についてであるが、従来、母性愛という用語で説明されていた母の児に対する感情は、かならずしも愛着的な方向の感情だけではなく、児に対する拒否的な嫌悪的な感情も存在するものであり、しかも両感情が一人の母親の中に同時に存在するものとするのが実際的であるという主張のもとに取り上げたものである。被虐待児の母親は、愛着と拒否の両感情の拮抗度が高いのではないかと推測される。

【研究方法】

1. 使用した質問紙 妊娠モチベーションも対児感情も、その測定は質問紙法によった。まず妊娠モチベーションであるが、花沢ら(1990)が作成した36項目からなる質問紙を改定して使用することにした。この質問紙の妥当性については、すでに検討済みであるが(和田ら、1990)本研究のために36項目についてGP分析による再検討を試みた。資料は1990年のものを用い前回同様の方法によったが、その結果は前研究のものと同じことになった。すなわち、36項目のうちの25項目を用いるのが妥当ではないかという結果である。とくに本研究では、2個所の医療施設の産科外来で妊婦

を対象とし、しかも対児感情評定尺度と併用することから、項目数は少ないほうがよいと判断されることから、この25項目を用いることにした。その項目内容は、後掲の別表1のとおりである。

質問項目のはじめに、つぎのような教示が与えられる。すなわち「妊娠しておられる今、あなたはどうのお気持ちでおられるか、おたずねします。つぎの1～25の各項目を読み、最もよく当てはまると思われる答を○でかこんでください。」というものである。答は「非常にそのとおり そのとおり 少しそのとおり そんなことはない」の4件法とし、回答後の採点では4点～1点とした。得点は個人別に全25項目を合計して妊娠モチベーション得点とした。高得点ほどモチベーションの高いことを表す。

対児感情評定尺度は、後掲の別表2のような形容詞項目からなるもので、はじめの教示はつぎのようである。「あなたは“赤ちゃん”を頭に思い浮かべたときに、どのような感じがしますか。下の言葉でみたとき、どの段階に当てはまるでしょうか。あなたの気持ちに合うところに○をつけてください。」というものである。ここでも答えは別表2のように4件法とし、得点は3点～0点とした。

この評定尺度で形容詞項目は、児に対する肯定的・受容的な感情をあらわす「あかるい・おもしろい・いじらしい・たのしい……」などという項目(これを接近項目と呼ぶ)と、児に対する否定的拒否的な感情をあらわす「よわよわしい・めんどくさい・いらだたしい・やかましい……」などという項目(これを回避項目と呼ぶ)とから構成されている。前者から測定される感情を接近感情、

後者から測定されるものを、回避感情と呼んでいる。いずれの感情得点も、最高は42点である。

2. 研究の対象 東京都立荒川産院と名古屋第一赤十字病院産科の外来に通院中の妊婦を対象とし、妊娠モチベーション質問項目と対児感情評定尺度を一緒にした「母性心理質問紙」を実施して269部を回収したが、記入に不備のものを除外したので有効数は261部となった。平均年齢は27.5歳(範囲17~38歳 SD=4.06)となり、平均妊娠週数は25.3週(範囲8~39週 SD=7.81)、平均妊娠回数は1.5回(範囲1~5回 SD=0.79)である。

【結果と考察】

対象となった妊婦全体の妊娠モチベーション得点平均は64.8、標準偏差(SD)は11.04となった。また得点の分布は、ほぼ正規分布に近いものであった。そこでモチベーション得点平均+1SD以上、すなわち76点以上の妊婦を高動機群、得点平均-1SD以下、すなわち53点以下の人を低動機群として選出した。高動機群は48名、低動機群は42名となった。

両群の対児感情得点を比較したが、まず接近感情得点の比較では、つぎの表1のような結果になった。すなわち、高動機群の平均は34.4、これに対して低動機群の平均は23.7となり、t検定によると1%水準の有意差ということが分かった。SDは低動機群のほうが7.74とやや高くなっているものの、これは極めて明確な差といえるものである。妊娠モチベーションの高い妊婦は、児に対して肯定的、愛着的な感情を抱いている傾向が強いという結果である。低動機群の23.7点という得点は、接近感情得点自体としてやや低いといえるものであり、妊娠モチベーションと接近感情との高

い関連性が認められた。

[表1] 接近感情得点の妊娠モチベーション
高低両群間比較

| 群 | 人数 | 平均 | SD | t |
|------|----|------|------|----------|
| 高動機群 | 48 | 34.4 | 4.07 | 8.022 ** |
| 低動機群 | 42 | 23.7 | 7.74 | |

** P < .01

つぎに、児に対する拒否的な感情である回避感情得点との関係をみたものが表2である。この表が示すように、高動機群と低動機群との間には回避感情得点平均の差はまったく見られなかった。もともと妊婦の場合には、この回避感情得点が高得点になる人は少ないものである。従って、このような群間比較をすると、差が現れにくいものでもある。しかしながら、この表4で各群の標準偏差は5.38と6.52で、両群ともに決して低い数値とはいえない。かなり個人差のあることは事実である。とくに被虐待児の母の場合に、この回避感情がどのような意味をもつことになるか、今後検討を重ねたいと考えている。

[表2] 回避感情得点の妊娠モチベーション
高低両群間比較

| 群 | 人数 | 平均 | SD | t |
|------|----|------|------|-------|
| 高動機群 | 48 | 11.2 | 5.38 | 0.126 |
| 低動機群 | 42 | 11.1 | 6.52 | |

最後に、接近感情得点と回避感情得点との間の相克度を表す拮抗指数と妊娠モチベーション両群との関係を調べた。拮抗指数というのは、つぎの

式で算出する。

$$\text{拮抗指数} = \frac{\text{回避感情得点}}{\text{接近感情得点}} \times 100$$

母性愛という言葉は排して、ここでは対児感情という考え方をとったことは前述したが、個人のうちに接近感情と回避感情とが二次元的に同時に存在することは、ときに両感情が相克することを意味している。母親の児に対する態度や行動を観察していると、時と場面によって、その関わり方は変動し矛盾することがしばしば見受けられる。母子関係における情動的関わりで、大きな問題となるのは、回避感情が高いとか、母性愛が欠如しているとかということよりむしろ、接近感情と回避感情とが強く相克している、つまり拮抗指数が高いという場合にあるのではないかと想定される。そこで、このような拮抗指数を求めることにしたのである。

妊娠モチベーションの高低両群の拮抗指数平均を比較したものが表3である。この表が示すように、高動機群の平均は32.7、これに対して低動機群の平均は46.5で、1%の危険率で有意な差とな

っている。このように、妊娠モチベーションの低い妊婦は、児に対する接近感情と回避感情の相克度が高い傾向にあることが明らかになった。

[表3] 両感情拮抗指数の妊娠モチベーション
高低両群間比較

| 群 | 人数 | 平均 | SD | t |
|------|----|------|-------|----------|
| 高動機群 | 48 | 32.7 | 15.59 | 3.153 ** |
| 低動機群 | 41 | 46.5 | 23.94 | |

** P < .01

以上の結果から、妊娠モチベーション質問紙と対児感情評定尺度は、被虐待児の母の妊娠期における早期発見と予防のためのアセスメントとして有用であることが示唆された。本研究においても母性心理質問紙を受検した妊婦の中で無事に出産した人を対象にして、新生児への接し方に問題のある褥婦の両テスト結果の内容を分析する試みを計画したが問題となった褥婦の人数が少なかったために、まとまった結果は得られなかった。今後さらに検討を続けたいと考えている。

[別表1] 妊娠モチベーション質問項目

1. 予定どおりの妊娠なので、この妊娠に満足している。
2. この妊娠を体験することで、自分を成長させたいと思う。
3. 生理がなくなったときから、妊娠ではないかと怖れていた。
4. 妊娠中は、どんな苦しみもがまんできると思う。
5. 赤ちゃんのためなら、今まで好きだったものもやめられる。
6. 赤ちゃんのためなら、自分の生活を犠牲(ぎせい)にできる。
7. できるだけ早く、赤ちゃんの衣服をそろえたい。
8. 育児の本や雑誌を、できるだけ多く読んでみたい。
9. 本当は、もっと早く妊娠したかった。
10. デパートのベビー用品売場へ、すぐに行ってみたい。
11. 赤ちゃんの将来についての夢が、すぐ頭に思い浮かぶ。
12. 妊娠ではないかと気がついたとき、すぐ夫に話した。

13. 妊娠を知って、急に世の中が明るく感じられた。
14. お腹の赤ちゃんの様子を、この目でしっかり確かめたい。
15. 近い将来、子育てができるかと思うと嬉しくなる。
16. 妊娠したことを知って、女に生まれた喜びを感じた。
17. 妊娠したことを、友だちに自慢(じまん)できるのが嬉しい。
18. この妊娠によって、夫婦の愛情は深まると思う。
19. 妊娠したことで喜んでいる夫の顔を、いつも見ていたい。
20. 我家の繁栄のため、この妊娠を立派になしとげたいと思う。
21. 妊娠したことを知って、急に憂うつな気分になった。
22. 妊娠していることを、できるだけ多くの人に伝えたい。
23. 妊娠中の生活をどうしたらよいか、早く計画を立てたい。
24. 夫の両親のためにも、この妊娠を立派になしとげたい。
25. 自分の両親のためにも、この妊娠を立派になしとげたい。

[別表2] 対児感情評定尺度の項目

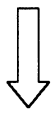
| | 非 常 に お り | そ の と お り | 少 し お り | そ ん な い | | 非 常 に お り | そ の と お り | 少 し お り | そ ん な い |
|-------------|-----------------------|-----------------------|------------------|------------------|-------------|-----------------------|-----------------------|------------------|------------------|
| あかるい…………… | 3 | 2 | 1 | 0 | あまい…………… | 3 | 2 | 1 | 0 |
| よわよわしい…………… | 3 | 2 | 1 | 0 | くさい…………… | 3 | 2 | 1 | 0 |
| おもしろい…………… | 3 | 2 | 1 | 0 | ういういしい…………… | 3 | 2 | 1 | 0 |
| めんどくさい…………… | 3 | 2 | 1 | 0 | こわい…………… | 3 | 2 | 1 | 0 |
| いじらしい…………… | 3 | 2 | 1 | 0 | しろい…………… | 3 | 2 | 1 | 0 |
| いらだたしい…………… | 3 | 2 | 1 | 0 | うるさい…………… | 3 | 2 | 1 | 0 |
| たのしい…………… | 3 | 2 | 1 | 0 | すばらしい…………… | 3 | 2 | 1 | 0 |
| やかましい…………… | 3 | 2 | 1 | 0 | じれったい…………… | 3 | 2 | 1 | 0 |
| いとおしい…………… | 3 | 2 | 1 | 0 | やさしい…………… | 3 | 2 | 1 | 0 |
| わずらわしい…………… | 3 | 2 | 1 | 0 | てれくさい…………… | 3 | 2 | 1 | 0 |
| まるい…………… | 3 | 2 | 1 | 0 | みずみずしい…………… | 3 | 2 | 1 | 0 |
| あつかましい…………… | 3 | 2 | 1 | 0 | はずかしい…………… | 3 | 2 | 1 | 0 |
| うつくしい…………… | 3 | 2 | 1 | 0 | うれしい…………… | 3 | 2 | 1 | 0 |
| うっとりしい…………… | 3 | 2 | 1 | 0 | むずかしい…………… | 3 | 2 | 1 | 0 |

[参考文献]

1. 花沢成一：母性心理学 医学書院 1992
2. 和田・常木・花沢 他：妊娠モチベーション
質問用紙作成の試み 第31回日本母性衛生
学会抄録集 1990



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要約:小児虐待のハイリスク因子の一つとしての「望まぬ妊娠」が、虐待とどのように関わるものを明らかにすることを目指して本研究はおこなわれた。本年度はとくに、望まぬ妊娠の度合いを知るための妊娠モチベーション質問紙の適用性を検討することにした。これを妊婦 261 名に実施し、同時に児に対する感情の測定も試み、両者の関係を調べたところ、妊娠モチベーションの低い、すなわち望まぬ妊娠の度合いが強い妊婦ほど、児に対する愛着的感情の低い傾向が認められた。